

<事業名> 浜坂サンビーチ de ビーチサッカー交流 2020

団体名	山陰ビーチサッカーネットワーク
所在地	美方郡新温泉町
代表者名	松本 洋二

事業内容	<p>コロナ禍の影響を受け、8月開催予定であった事業を延期し、参加対象地域を但馬内と鳥取県東部地域に限定のうえ規模を縮小して、10月10日、11日に、地球環境スポーツ「ビーチサッカーFEST A2020 in 山陰海岸 shin-onsen」を実施した。実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策を行い、「ビーチサッカー大会」及び「ビーチサッカー体験会」についても、参加者の事前検温を義務付けるとともに事後状況確認を行った。参加にあたっては、兵庫県新型コロナ追跡システムを活用し、参加者には登録を推奨するとともに、参加者全員及び地域住民への安心感につなげた。コロナ禍において、多くの制限や制約がある中でも、山陰海岸ジオパーク啓発イベント等で繋がりのある鳥取の(一社)すなばスポーツをはじめ、新温泉町及び但馬内の各種団体、そして地域住民と連携協働し、地域の貴重な財産や美しい風景に目を向け、地元の青少年や地域住民がふれあい、交流する場の機会を提供した。なお、ビーチクリーン活動についても、緊急事態宣言下の間には、行う事ができなかったが、年間を通じて個人ごとに意識を高め、可能な範囲で浜坂県民サンビーチのクリーン作戦、自主的ビーチクリーン活動を積極的に実施するとともに、町内で開催される清掃活動やクリーン作戦への参加と協力への呼びかけを行った。夢但馬 2014 の想いを定着させ、「あしたのふるさと但馬」の地域づくりをめざして、浜坂県民サンビーチを交流体験の会場として、ビーチサッカー交流戦等のビーチスポーツ活動、ビーチクリーン活動を通じて、各種団体、そして地域住民の協力のもと、但馬地域や鳥取県東部の若者がふれあい、交流する場の機会を今年も継続して提供した。</p>
地域	美方郡新温泉町
事業の効果	<p><b>1 団体(組織)内の効果</b> コロナ禍の中、今回、延期の判断や規模縮小するにあたり、オンラインやSNS等を活用して、運営会議を多く開催した。その中で、運営委員の真剣な熟議を行うことにつながり、コロナ禍時点での開催基準や内容を円滑に決定することができ、団体の連携協働体制の強化につながった。</p> <p><b>2 地域への効果</b> コロナ禍で厳しい状況ではあったが、今年度に関して、まずは取り組みを継続して行えたことが何よりの成果であった。大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響を受け、当初予定していた規模での活動を今回開催することが叶わなかったが、行政をはじめ、関係各所との協議を続け規模縮小の上、交流戦を実施し、下記の成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・10月の開催であったが、比較的暖かい気候に恵まれ、事業を完遂することができた。交流戦開催時にはビーチクリーン活動を行い、参加者の意識を自然環境保全・啓発普及に向けてることにつながった。そして、スポーツとエコ(eco)の一体感づくり、ビーチスポーツイベントを通じた「浜坂県民サンビーチ」の環境保全意識を高める活動を広げていると実感している。</li></ul>

	<p>・浜坂県民サンビーチという地域の貴重な資源を再確認することができた。特に、裸足で行うピッチについて、皆でビーチクリーン活動を行うとともに、はだしでサッカーを行い、素足で砂をつかむ感触や不整地な砂の上で行う活動から足腰が強くなることの大事さを実感するなど多くの学びを得た。</p> <p>・但馬地域、鳥取県東部住民との地域を超えた青少年のふれあい活動の推進を継続して行った。</p>		
事業経過	2020年4月28日	メール、SNSでの連絡	事務打ち合わせ（2020 イベント内容協議）
	4月28日	但馬県民局より	令和2年度夢但馬応援事業助成金交付内示通知受領
	5月6日	但馬県民局宛	内示後における助成金活用報告書提出
	5月20日	但馬県民局より	夢但馬応援事業助成金交付決定書受領
	6月5日	浜坂多目的会議室	事業運営会議  COVID-19対策に基づく対策方針策定
	7月10日	浜坂県民サンビーチ	2020年度定期総会/役員会※規模を縮小して開催
	7月17日	メール、SNSでの連絡	ビーチサッカーFESTAについて、8月開催を断念し、 10月10日、11日に延期して開催することを決定
	8月～10月	オンラインでの連絡調整	事業内容協議、社会状況確認・精査継続
	9月14日	浜坂多目的会議室	事業内容決定、但馬及び鳥取県東部を参加対象として募集開始
	10月9日	浜坂県民サンビーチ	ビーチサッカーFESTA事前準備
	10月10日、11日	浜坂県民サンビーチ	ビーチサッカーFESTA 2020 IN 山陰海岸 shin-onsen 主催実施  ・ビーチサッカー交流戦・・・計6チーム選手等60人、スタッフのべ15人、引率者約34人 計109人（検温実施者）  ・ビーチサッカー体験 2日間 のべ80人（検温実施者）  ・ビーチクリーン活動・・・参加者全員でビーチクリーン活動を実施。  《但馬及び鳥取県東部地域住民に限る事前登録者にて実施》
	11月7日、8日	鳥取砂丘岩戸海岸	ビーチサッカーイベントにて、浜坂県民サンビーチでの活動紹介
	12月7日	但馬県民局宛	夢但馬応援事業進捗状況報告
	12月24日	オンラインでの連絡調整	2021年度事業について打ち合わせ
	2021年2月17日	メール、SNS活用（連絡）	3/6 開催岸田川クリーン作戦参加依頼、周知

	2月28日	メール、SNS活用（連絡）	次年度事業予定連絡・ビーチクリーン活動協力  2020年度事業経過報告他文書連絡  三役会（本年度の活動報告）
協働の相手方	（一社）すなばスポーツの協力		
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題</p> <p>今年は、コロナ禍での運営となり、事前検温実施や会場内におけるアルコール消毒徹底、食事の制限等多くの対策を万全に行うため、打ち合わせや準備に多くの時間を要するなど大変厳しい状況ではあったが、対象者を限定し事業を縮小して実施することにより、何とか実施することができた。事業終了後の参加者ヒアリングの中で、コロナ禍の中、各自新しい生活様式を意識し、感染対策に気を付けて、日常の中でスポーツや文化活動を実施していると話されていた。現在、観光や旅行をすることが厳しい中でも、健康観察並びに感染対策を万全に行い、大会を実施していただいた主催者と関係者に感謝を伝えられた。当団体としても、徐々にスタッフメンバーを若手に入れ替えて運営することを実践中であるが、核となる人物、中心メンバーの発掘までは至っていない。しかし、14年間の継続したビーチサッカー大会開催により、運営関係全般、備品関係、行政との連絡調整等もスムーズに行うことができているため、引き続き、人材確保に努めていきたい。</p> <p>2 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬地域には、若者が主体となるイベントや事業が非常に少なく、地域を活性化し地元で定着する若者を増やすために、今後も継続して若者が主役となるイベントを開催し、但馬内外に広くPRすることが必要不可欠である。</li> <li>・新温泉町をはじめとする但馬各地域においては、年々人口減少に拍車がかかり、特に40歳未満の若者人口が非常に少なく、地方創生、地域創生を含め、地域の若者の力を引き出していくことが必要である。</li> </ul> <p>〈令和3年度以降の事業計画〉</p> <p>若者が一堂に集う賑わいと憩いの貴重な場であり、「地域に根付いた魅力あふれるスポーツイベント」として定着している「ビーチサッカーFESTA」を8月末に継続して実施していく。その際、浜坂サンビーチという素晴らしい地域資源とともに、築いた人的財産、ネットワーク、また引き続きSNS(ソーシャルネットワークサービス)を上手に活用し、地域団体や各種グループと協働して、青少年健全育成、地域間交流を継続して行っていく。</p>		



令和2年10月10日 FESTA 体験会



令和2年10月11日 FESTA ビーチサッカー交流戦



令和2年10月11日 FESTA ビーチサッカー交流戦



令和2年度 浜坂県民サンビーチ 自主的ビーチクリーン活動